

お手渡し魚等の記念放流②

山形県漁業協同組合ヒラメ放流（吹浦漁港）

▶ お手渡し魚等の記念放流について

大会の式典行事において、天皇皇后両陛下から県内の水産関係者へお手渡しされた稚魚等（ヒラメ、アワビ、サクラマス、イワナ）の放流を行うものです。

▶ 山形県漁業協同組合 ヒラメ放流

平成28年10月4日（火）に、吹浦漁協（遊佐町吹浦）において、「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～」の式典行事で、天皇陛下から山形県漁業協同組合の土門拓也さんにお手渡しされたヒラメの稚魚を含む約6千尾のヒラメの稚魚を放流しました。この行事には、同組合員21名や遊佐町関係者らが参加しました。

放流に先立ち、土門拓也さんが、「遊佐町吹浦地域において、作り育てる漁業の取組みと豊かな自然を守る活動に積極的に取り組んでいきたい」と、豊かな海づくりに向けた決意表明を行いました。

引き続き行った放流では、参加者が、「大きく育てよ」、「元気でな」とそれぞれ声をかけながら放流しました。

今回の放流を通して、参加者全員が、これからも水産資源や豊かな自然を守り育て、未来に引き継いでいく決意を新たにしました。



土門さんによる決意表明



ヒラメの稚魚の放流（1）



ヒラメの稚魚の放流（2）



参加者で記念撮影